



25年に完成した新社屋。洗練された外観が目立ち、夏は日射しを遮り、冬は日光を取り込めるように設計するなど、快適な職場環境の実現も考慮されている。

90年代以降は、県や市町村に加えて国からの受注も増加。斐伊川放水路や山陰自動車道などの大きなプロジェクトの一端を担い、地域になくてはならない事業者として存在感を高めていった。高い技術力や安定性を求められる国発注の工事への参加は、ISOなど各種認証取得を加速させ、品質向上も後押し。25年度には、7年連続で国土交通省中国地方整備局から工事成績優秀企業に認定

された。福田副社長は、「技術力に加え、現場を束ねていく施工管理能力が評価されたのだと考えています。一人一人の高いモチベーションが結果に結びつきました」と語る。業界全体で多角化の流れが加速する中、約15年前に農業分野に参入。現在はハウス5棟でシャインマスカットとフルトマトを栽培する。「高付加価値な農作物を地元で育てることで、出雲や島根の価値を高めるお手伝いができれば」。創業時から変わらぬ地域への思いが、新事業の根底にもある。

ともに地域の発展を担う社員たちへの思いもひとしおだ。「社会人たるもの海外も知らずしてはならない」という初代の考えに基づき、約25年前から入社3年目の社員を対象にした海外研修旅行を実施。働く環境整備にも注力しており、25年にはフリーアドレスやオフィスグリーンを取り入れた新社屋が完成。外観も都会的な雰囲気でありながら、周囲の田園風景にも馴染むようにデザインされ、地域とともに生きるといふ信念が反映されている。

業界の縮小化が叫ばれる中、100年企業を見据えて挑むのが、専門性の追求と生産性の向上だ。「ニーズを越えた企画力と技術力で、地域の永続と発展を実現していきたい」

**専門性と生産性を追求し  
地域の永続と発展を実現**

戦後間もない1954年に創業。第2次世界大戦末期、中学生だった初代が旧斐川町内での海軍航空基地造成に携わった経験がルーツにある。「復興が急がれる中、祖父は人を集め、地域のインフラ整備に汗を流す道を選んだようです」と話すのは、福田佳典副社長(37)。創業期は、ほ場や用水路整備などの農業土木を主に手がけ、今も残る美しい斐川の田園風景を造り上げていった。60年代後半にはJR山陰本線の複線化に伴う造成工事を手がけて大きく発展。また82年のくにびき国体の会場の一つとなった斐川町立体育館という大型の新築工事の実績を機にその後は土木と建築の2部門を軸に業績を伸ばしていった。



**株式会社 フクダ**

● 総合建設業 / アグリ事業 / 不動産事業 / ソーラー発電事業



**ふるさとへの思いを胸に  
地域が求めるニーズに応える**

国交省の官僚を辞し、家業の担い手となった福田佳典副社長。一度は県外で暮らした経験が、故郷愛を募らせる。「誰でもふるさとがなくなったら寂しい。社員一同で地域に求められるニーズを探り、企画、提案、実行していくのが地域に根差す企業の使命です」



**農業ビジネスに参入  
主軸はシャインマスカット**

多角化戦略の一環として約15年前から農業ビジネスをスタート。シャインマスカットやフルトマトなどを栽培し、地元スーパーや青果市場などに出荷している。ビニールハウスの環境を細かく調整し、天候に左右されない品質と安定した収穫を実現している。



**多彩な土木・建築事業で  
地域のインフラ整備に注力**

創業以来、社業の主軸は建設事業。工事現場を監督する施工管理の技術者が多数在籍する。かつては町内の農地整備に始まり、今や道路や鉄道、倉庫やオフィスなど多彩なインフラ整備を通して地域に貢献している。最近では若い職員も増えてきている。



**清掃活動やスポーツ参加を通し  
活気ある地域づくりに貢献**

「ハートフルしまね」の登録団体、出雲市美化サポートクラブの一員として、道路・河川の清掃など地域の環境整備に携わっている。また、一畑業師マラソンには毎年社員が多数出場し、地域イベントを盛り上げるのに一役。昨年は17人が境内を駆け抜けた。

**49**  
LEADING COMPANY

**100年企業を見据え  
地域とともに成長し続ける**

農業土木から始まり、道路や川、倉庫や工場、近年は農業まで事業を拡大してきた《株式会社フクダ》。地域の発展とともに成長を遂げ、さらなる価値を高めつつ100年企業を目指している。



## 株式会社 フクダ

創 業 昭和29 (1954) 年6月1日  
代表者 代表取締役 福田 弘道  
社員数 109名 (男98名 女11名)  
本 社 島根県出雲市斐川町荏原2292

### 事業内容

土木事業や建築事業、設計業務、アプリ事業、不動産事業、ソーラー発電事業

### 勤務地(採用エリア)

出雲市、大田市、米子市

### 採用区分

新卒採用 キャリア採用

インターンシップ・キャリア

有 マイナビサイトで順次情報公開。

### 採用担当者からあなたへ

私たちは暮らしに欠かせないものをつくり続けてきた建設会社です。チームで協力しながら形をつくりあげていく達成感が、この仕事ならではの魅力です。文理問わず若手も活躍しています!ぜひ、ものづくりや地域に貢献する仕事に興味のある方など、お待ちしております!

総務部 係長  
江口 政祐さん

採用に関するお問い合わせ先

0853-72-0201

公式サイトは  
こちら



Instagramは  
こちら



## 「フクダで働く」を知る



若手社員には現場ごとに先輩社員が付いてサポート。会社全体で人材を育てる仕組みが整っている

### Q. 福利厚生について教えてください。

A. ノー残業デーを設けるほか、AIを活用した書類作成など現場のICT化を進めて生産性を高めていることもあり、月の平均残業時間は13.3時間。業界としては非常に少ないと自負しています。有給休暇は時間単位で取得できるので、子育て中の社員らに好評です。完全週休二日制ではありませんが、土曜日も月3回以上は社休日とし、年末年始や夏季休暇を含め、年間休日113日あります。

### Q. 社員向けの研修旅行が多数あると聞きました。

A. 若者に見聞を広めてほしいという創業者の思いを反映し、入社3年目の社員を対象とした海外研修を行っています。費用は会社が全額負担。近年は韓国を訪れることが多いです。勤続年数20年以上の社員には、本人とご家族1人に長年の貢献への感謝を込めて国内外への旅行をプレゼントしています。その他、2年に1度、全社員対象の研修旅行も行っており、今年は沖縄、東海、関西の3か所に分かれて楽しみました。

### Q. 建築や土木の知識がなくても、働くことができますか。

A. 当社には文系出身の社員もいます。研修制度が整っているため、建設業界の知識が一切なくても大丈夫です。入社後2週間、社内外で安全やマナーなどに関する研修を受けた後、約3か月にわたって本社で測量や3次元データ作成など、土木・建築関連の基礎的な技術を身に付けます。現場に配属後は、現場ごとに年齢の近い先輩社員がメンターとなって細やかにサポート。会社全体で一人前に育てていきます。

### Q. さまざまなグループ会社があるそうですね。

A. 当社以外に建設コンサルタントや土木・舗装工事、不動産事業、ガソリンスタンドなど様々な業種のグループ会社と同じ出雲市斐川町内に5つあります。当社もアプリ事業を手がけるほか、本社以外に米子と大田に営業所を構えているので、グループ全体の業種とエリアは幅広く展開しています。最近は仕事始めや入社式をグループの社員全員で実施しています。ちなみに当社の社員全体の懇親会は、グループ会社の一つである出雲空港ホテルで行っています。



グループ会社には土木・建築関係のほか、出雲空港ホテル(上)やガソリンスタンド(下)も

## 地域の発展とともに成長するスタッフ

### 国やJR発注の工事を担当。重要インフラ整備に注力

新人の八幡さんにとって最初の現場が、農林水産省が発注した宍道湖西岸農地整備事業の論田川排水機場建屋建設工事。先輩2人とともに施工管理を担当し、書類の作成や現場での安全確認などを担う。ハーネスを着用し、高さ7、8メートルの足場を歩くことも。「熱中症対策も安全対策の一つ。暑さ指数なども参考に水分補給や休憩を呼びかけつつ、職人さんたちの顔色も気にかけています」

一方、JR西日本の鉄道沿線の構造物施設の修繕工事をメインで担当するのが松本さん。法面の崩れや駅構内の雨漏り、コンクリート高架の老朽化などに対応し、山陰各地で年間60か所近くを修繕する。「施工管理だけでなく、測量や調査、図面などゼロから関わる現場も少なくなく、大変ですが完成時の達成感は大きいです」



土木部 松本 修さん(49)  
入社10年目



建築部 八幡 歩さん(20)  
入社2年目



営業部 八島 健介さん(27)  
入社9年目



### 施工管理の経験生かし、大規模案件の受注目指す

昨年まで所属していた建築部では、さまざまな現場の施工管理を担当。入社3年目に携わった斐川学校給食センターの建設時は安全関係の書類の作成を任せられ、撮影した記録写真は膨大な数に上った。「初めての大規模工事で書類の数は桁違いに多く、法律と照らし合わせる作業にも時間を費やしました。協力会社が多数出入りしており、多くの人の手で建物ができ上がっていく過程に圧倒されました」

現場で得た経験を生かし、昨夏から営業に転籍。工程に応じて必要な人員や材料などを見極め、適切な見積もりを作って顧客にプレゼンテーションを行っている。「できる限り専門用語を使わず、分かりやすい説明を心がけています。億単位の大きな案件を受注から引き渡しまで関わられるようになるのが目標です」



総務部 三代 夕姫さん(27)  
入社1年目



総務部 三代 夕姫さん(27)  
入社1年目

### コミュニケーション力を生かし、採用業務に奮闘

転職を考えて会社を探中、人事担当を募集する求人票に目が留まった。「リクルートは前の会社で担当した経験がありましたが、学生さんたちと話すのが楽しかったことを思い出しました」。建設業界は未知の世界だったが、興味を持てる仕事に携われると考え、足を踏み入れた。

採用業務を主に担当。業界知識を学びつつ、新卒者向けの合同説明会などで学生らが質問しやすい雰囲気意識して対応したり、資料の準備や転職サイトのエージェント対応も行う。「まだまだ勉強不足ですが、先輩社員の対応をまねしながら学生さんたちの質問に答えています」。今年11月から産休を取得。「周囲には男性社員で1か月近く産休を取られた方もいる上、各種制度も整っているので安心です」



土木部 施工班 松直 叶さん(31)  
入社3年目



### 鉄道インフラの安全安心を支える“縁の下の力持ち”

毎日列車が走行する線路にはさまざまな理由で歪みが生じ、この歪みが鉄道の乗り心地や安全性に影響を及ぼす。松直さんらフクダの鉄道班は、JR山陰本線、伯備線、木次線、因美線の保線作業を担当。枕木下の道床が大型保線用機械でつき固められた後、列車の運行に支障がないように道床のメンテナンスを行ったり、線路上のトンネルに異常がないか打音・目視検査を行ったりして、列車の安全な走行を支えている。「山陰のインフラを陰ながら支えているという自負はあります」と胸を張る。

作業するのは列車が運行していない夜間がメイン。「大変ですが、やりがいはあるし、一緒に働いているメンバーの雰囲気も良いので楽しく働いています」。将来は、軌道工事管理者などの資格取得も目指す。